

## 【13 小規模多機能型居宅介護事業所】

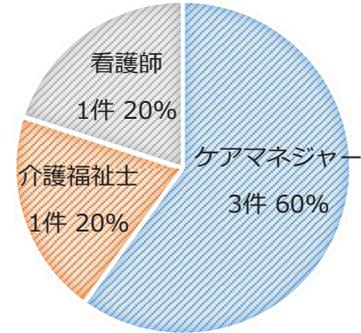
### 回答者について

#### ■ 調査数及び回答率



■ 回答 ■ 未回答

#### ■ 職種



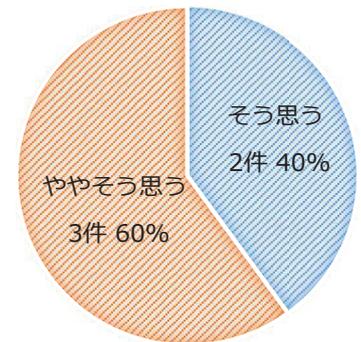
■ ケアマネジャー ■ 介護福祉士 ■ 看護師

#### ■ ここ3年程度の多職種や他機関連携の図りやすさ

ここ3年程度の多職種や他機関連携が図りやすくなりましたかの問いに対し、「そう思う」「ややそう思う」が100%となっている。

理由としては、

- ・多職種から連絡もらい、連携はできている。
- ・看護部長と話しやすく、事務所にNSがいる。訪問歯科に来てもらっている。
- ・訪問看護スタッフが積極的に情報を教えてくれ、包括も積極的に関わってくれる。
- ・外山裕二先生をはじめ、各医師が相談しやすい環境を作ってくれている。
- ・互いに連絡が取りやすい。と回答している。



■ そう思う ■ ややそう思う  
■ あまりそう思わない ■ そう思わない

### 4つの場面について

#### ■ 「日常の療養支援」の連携で感じている困難さと解決策

- ・夫妻でサービスを受けている場合にどちらかの情報共有が希薄になるため、情報共有の徹底。
- ・受診付き添い。療養と言う事より要介護の方が要支援になったとき、要支援を受ける所が少ない。身体が改善している事でもないのので通所もそのまま受けてほしい。
- ・施設が病院（医師）へ相談しやすい環境を継続してもらえると良い。

■「入退院支援」の連携で感じている困難さと解決策

- ・入院時はSW や看護師に情報を通してはいるが、別の病棟看護師より連絡がある。退院時はカンファレンスを行なっているが、利用者の分からない情報が出てきた時に何度も聞きにくい。病棟での統一した連携。
- ・家族が遠方にいる時など家族の支援が厳しい時。入退院のカンファレンスをしてもらうところが増えてきた。

■「急変時の対応」の連携で感じている困難さと解決策

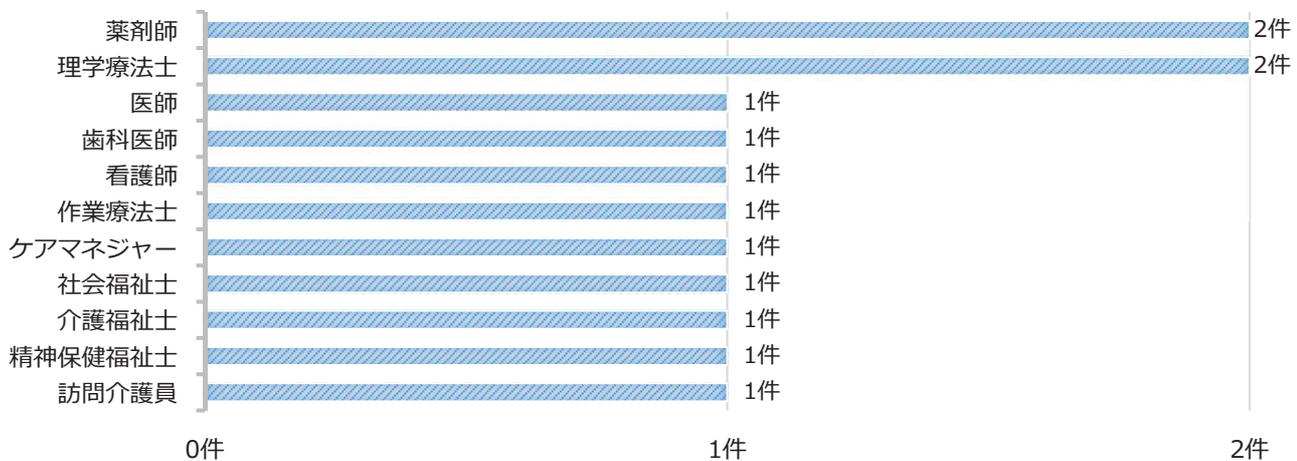
- ・まず病院に相談するが大概救急車要請している。
- ・夜間帯にかかりつけに連絡すべきか、人吉医療センターにするか判断に迷う。
- ・急変があった場合は各関係機関に連絡し連携している。
- ・家族と連絡を取り、緊急時は救急車依頼している。

■「看取り」の連携で感じている困難さと解決策

- ・ちょっとした事で連絡をしてよいのか迷う。担当者会議での決め事。
- ・施設側のスキルと人材不足。施設側の人材、スキルの強化を図る。

■今後、より連携を深めていきたい職種

「薬剤師」「理学療法士」が2件と最も多くなっている。



※0件：「保健師」「歯科衛生士」「管理栄養士・栄養士」「言語聴覚士」

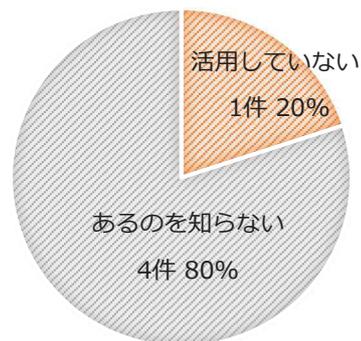
- ・理学療法士.精神保健福祉士：身体に障害ある方のリハビリの取り組み方を知りたい。認知症も行動障害のひどい方の対応の仕方を知りたい。
- ・看護師.薬剤師.ケアマネジャー.社会福祉士.訪問介護員.介護福祉士.医師.作業療法士.理学療法士：現在の利用者を取り巻く環境に対して。
- ・歯科医師：受診が難しい方の訪問診療が受けやすくなると有り難い。
- ・薬剤師：担当する人に関する事は色々な職種と連絡が取れている。

## 人吉球磨在宅医療介護連携推進事業のホームページ「だんだんなあネット」について

### ■「だんだんなあネット」の活用状況

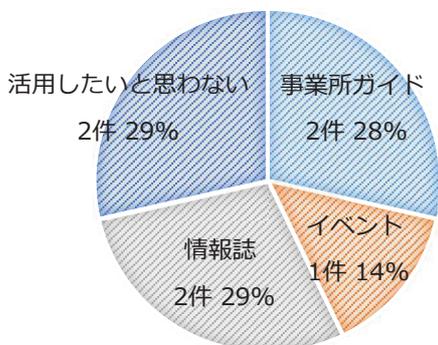
だんだんなあネットが「あるのを知らない」が80%と最も多く、次いで「活用していない」が20%と、小規模多機能型居宅介護事業所では全く活用していないことが分かった。

活用していない理由としては、「パソコンの利用が得意でない」と回答している。



■ 活用している ■ 活用していない ■ あるのを知らない

### ■ 今後活用したいと思うページ



■ 事業所ガイド ■ イベント ■ 情報誌  
■ お問い合わせ ■ 活用したいと思わない

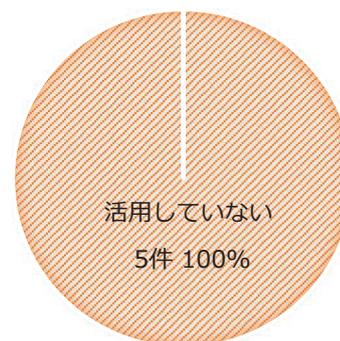
### ■ 載せてほしい情報

- ・新しい事業所など知りたい。
- ・各施設や事業所の紹介。
- ・研修など。

## 医療と介護の情報共有シートについて

### ■「医療と介護の情報共有シート」の活用状況

医療と介護の情報共有シートを「活用していない」が100%と、小規模多機能型居宅介護事業所では全く活用していないことが分かった。



■ 活用している ■ 活用していない

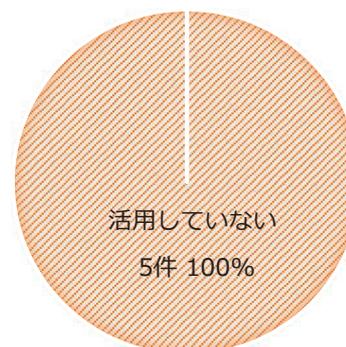
### ■シートを活用していない理由

- ・ 知らなかった。
- ・ 今以上に書類を増やしたくない。
- ・ 電子メールなど最低限しか対応してない。
- ・ 医師の意見書を活用。受診に同行する人も多い

## 医療と介護の連絡シートについて

### ■「医療と介護の連絡シート」の活用状況

医療と介護の連絡シートを「活用していない」が100%と小規模多機能型居宅介護事業所では全く活用していないことが分かった。



■ 活用している ■ 活用していない

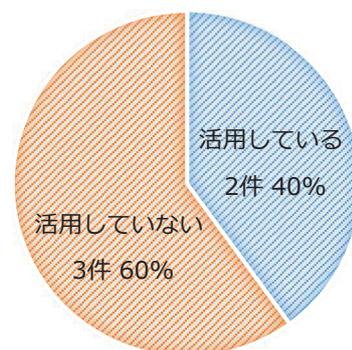
### ■シートを活用していない理由

- ・ 知らなかった。
- ・ 直で電話や訪問し報告連絡相談している。
- ・ 書類ばかり増えて困っている。
- ・ 時間がない。
- ・ パソコンが苦手。

## くまもとメディカルネットワークについて

### ■くまもとメディカルネットワークの活用状況

くまもとメディカルネットワークを「活用していない」が60%と最も多く、次いで「活用している」が40%と小規模多機能型居宅介護事業所ではほとんどが活用していないことが分かった。



■ 活用している ■ 活用していない

### ■くまもとメディカルネットワークの活用方法

活用方法としては、「医療機関との連携」が100%(2件)となっている。



■ 医療機関との連携 ■ 介護事業所との連携  
■ 調剤薬局との連携 ■ 歯科院との連携

### ■くまもとメディカルネットワークを活用してみた意見

- ・タイムリーに状況がわかる。
- ・ちょっと使いづらい。

### ■くまもとメディカルネットワークを活用していない理由

- ・利用者も少なく、現在の医療機関とのやりとりで困ることなし。
- ・くまもとメディカルネットワークは、医療機関のためにつくられたもの。介護事業所のメリットは感じない。医療と同等の権限が与えられていない。
- ・パソコンの使用方法が分からない。

## その他について

---

### ■くまもとメディカルネットワーク以外で活用している情報共有ツールの名称

- ・バイタルリンク

### ■後継者不足や人材不足に対する取り組みなど

- ・知り合いへの声かけや職安などで募集をかけている。(3)
- ・働きやすい職場作り。
- ・自分もやめる年齢にも来ているが、なかなか辞められない。リモート研修が出来る環境など整えてはいるが学ぼうと言う意識は少ない。又、賃金も通所系と入所系の格差が出来ている。通所系は介護度が低く手のかかる人が多いのに比べ、入所系は介護度が重い方が多い。必然と収入に影響する。介護 4・5 の方の金額を下げ、1・2・3 の方をもう少し上げてほしい。スタッフへ還元できるのだが小規模などは、いろいろ大変な人を受けている。介護 1・2 が登録の 80 パーセントぐらい占めているのが現状。

### ■医療と介護の連携について、日頃感じていることなど

- ・病院次第では、医師、看護師の態度にカチーンとくることあり、弱者（患者）にはやさしく接してほしい。
- ・どこも人材不足で連絡をとるが担当が不在のケースがあり、タイムラグが生じている。
- ・在宅医療に尽力している先生のおかげで守られている高齢者がいるという現実を目の当たりにしており感謝しかない。